

所属・氏名（総合リハビリテーション学部リハビリテーション支援学科 氏名：森永浩介 ）

著書、学術論文等の名称		単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1	（ 報告・発表 ）		2008 年 5月	第 15 回日本義肢装具士協会学術大会（仙台）－他業種から学ぶ適合のあり方－	筋電義手はモーターを駆動させることにより把持動作を行っている。よって、健常者や能動義手の使用者とは異なり体性感覚を用いていない。体性感覚を用いてないことにより筋電義手の使用者は習熟に5～6年必要とされている。そこで、我々は筋電義手に体性感覚の代わりとなるセンサー(加圧導電性ゴム)を取り付け、刺激においては閾値などの問題の少ない光を用いた感覚のフィードバック装置を開発した。また、その装置を用いて感覚のある場合と無い 場合における、作業の習熟度を検証し、優位性 を検証し、新たな動作の獲得における体性感覚 の必要性を立証した研究を発表した。
2	（ 報告・発表 ） モーションコントロールリミッターの製作と機能 ～Fabrication and Function of Motion Control Limiter～ 《筆頭論文》	共著	2014 年 3月	PO アカデミージャーナル Vol.21,No.4	継手付プラスチック短下肢装具に組み込むことで、可動域調整機能を持たせることができるモーションコントロールリミッターについて、その特徴と製作工程を述べた。 (当該論文のページ数:4 頁) (著者名:森永 浩介、狩野 綾子) 共著担当頁特定不可能
3	（ ）				
4	（ ）				
5	（ ）				